

町長の姿勢を問う

課題は多いが全力で臨む／町長



議員 矢野 昭三

問

- ① 合併前の互いの町の事は知らない。黒潮町の歴史の編纂は時間を要するのでとりあえず年表の作成ができないか。
- ② 高齢者の介護施設が満床だが改善の見通しはあるか。
- ③ 猪、鹿などによる被害が大きくなった対策を問う。
- ④ 鳥獣保護でなく人間の保護を、講習の費用等を町で支援すべき。
- ⑤ 平成19年6月議会で「町が中村警察署へ存続の要望書を提出する」と答弁があった

拳の川駐在所の建替え見通しを問う。その後の状況は。

- ⑥ 消防署の建設はいつごろ開始するか。
- ⑦ 地震、津波などの防災施設整備を問う。
- (1) 港、堤防等計画的に要望するか。
- (2) 急傾斜地工事等住家に関する工事負担金を軽減するか。
- ⑧ 佐賀支所の税務相談等組織体制を問う。
- 四万十市西土佐支所は申告書提出までの書類の仕分けが大変なので、税務係り3名を配置しているが町の対応は。
- ⑨ 佐賀支所長の職務権限は3月議会で議会へ相談すると答弁だったが、どうなっているか。

答

大西町長

- ① 郷土史に精通しない者がすると不十分になる。いずれかの時期には作成する。
- ② 高齢者生活福祉センター「こぶし」の計画変更や保育所を再利用する事業者があるか協議をしたい。
- ③ 努力しているが被害が増えている。制度改正を含め県などへも要望する。
- ④ 狩猟免許の申請費用の助成、捕獲計画もあわせ検討したい。
- ⑤ 中村警察署は存続の必要性を認めているが建設の時期、用地を含め未定。
- ⑥ 地権者との交渉も大体合意した。22年度に用地が出来なければ23年度実施設計、本体工事の予算を来年9月に要求し着手したい。
- ⑦ (1) 人家の前を全てコンクリートで囲うことは出来ない。
- (2) 急傾斜工事の受益者負担は町の負担割りの50%。住家対策工事の受益者、町負担割、各25%。負担軽減は考えていない。
- ⑧ 4月から佐賀の事務は大方へ統合している。納税相談などのサービスの低下を食い止める検討をしている。
- ⑨ 副町長を配置していた時とあまり変わらないように権限付与している。



イノシシに踏み荒らされた稲

